

四国遍路みちにおける、 「へんろ転がし」の工学的研究（第1号）

四国遍路みち研究会

1. はじめに

四国建設弘済会（現 四国クリエイト協会）では、「四国遍路みち研究会」を平成19年10月2日に設立し、以後毎年2カ所程度（設立当初時）の遍路道のデータを収集してきた。

この研究会の当面の活動は遍路道の中でも、特にお遍路に大きな負担を与える通称「へんろ転がし」という急勾配の遍路道の実態を、四国ならではの自然と地形などの条件とお遍路の各種修行等に重ね合わせ、当会の特技である土木技術の視点による工学的な見地から調査・分析し、世界文化遺産登録活動を支援しようとするものである。



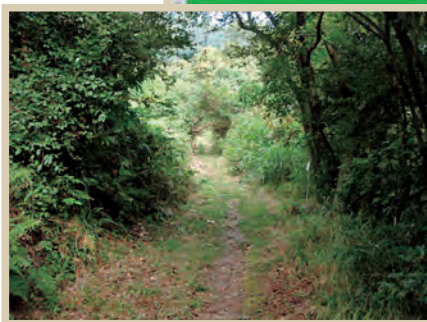
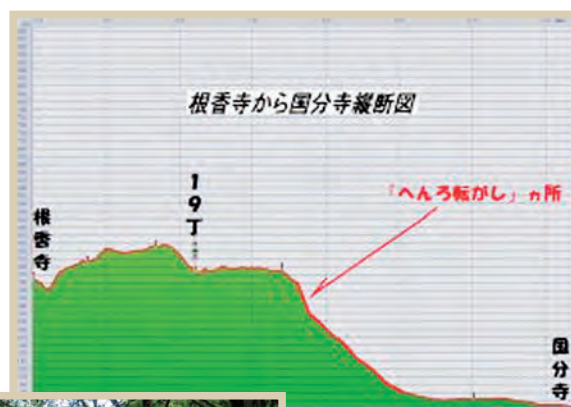
遍路道調査状況

2. 四国遍路みちにおける「へんろ転がし」とは

「へんろ転がし」という明確な定義は、浅学の中で各種古文書・解説書等を調べてみただが見あたらない。

例えば、中島久雄著の「四国八十八カ所スケッチ集「へんろみち」」には、「へんろころがし」とは、遍路道にある坂道の通称で、山岳寺院札所への厳しい急な坂道で滑りやすく、お遍路さんがよく転んだことから、遍路をころげ落とすような道の意味で呼ばれており、急勾配な一部分の坂道箇所を指している。

また、「昔、オダイシサンはへんろに苦難を与えるため、山中深く六つの難寺を遣された。その苦難を享けながら歩く道を、「へんろころがし」という。」と記述している書物がある。



へんろ転がし（上から下へ）

◎へんろ転がしで繋がる札所等→高低差・延長等は概数です。

延長の（ ）が、うちへんろ転がし区間延長

1) 第11番藤井寺～第12番焼山寺

藤井寺～焼山寺～神山町鍋岩→高低差約700m・延長約16km（約13km）

2) 勝浦町生名～第20番鶴林寺～阿南市大井水井橋

鶴林寺道→勝浦町生名県道16号～鶴林寺～阿南市大井水井橋→高低差約500m・延長約6km（約4km）

3) 阿南市大井水井橋～第21番太龍寺

太龍寺道→水井橋若杉登坂口～太龍寺→高低差約500m・延長約7.5km（約1.5km）

かも道→一宿寺～太龍寺→高低差約450m・延長約4.8km（約1.2km）

*一に焼山（焼山寺）、二にお鶴（鶴林寺）、三に太龍（太龍寺）へんろ泣く

4) 安田町国道55号～第27番神峯寺

安田町国道55号～神峯寺→高低差約400m・延長約4km（約1.3km）、ここのへんろ道は「真っ縦（まっただて）」と呼ばれている。

5) 久礼長沢谷～添蚯蚓（そえみみず）～国道56号七子峠

中土佐町久礼長沢谷～添蚯蚓～56号七子峠→高低差約350m・延長5.6km（約0.2km）

6) 国道33号三坂峠～第46番浄瑠璃寺

国道33号三坂峠～浄瑠璃寺→高低差約600m・延長約8km（約1km）

7) 県道147号～第60番横峰寺

県道147号終点～横峰寺→高低差約700m・延長約3km（西条市小松町石鎚の登山口から、横峰寺への約1.6km）

8) 第66番雲辺寺～池田町佐野

雲辺寺～三好市池田町佐野
国道192号→高低差約700m・延長約5km（約1.8km）



丁石（遍路道の距離標：1丁＝約109m）



五色台調査中（お遍路さんと記念写真）

雲辺寺～白藤大師堂→高低差約800m・延長約9km（約4.3km）

9) 第81番白峰寺～五色台19丁

白峰寺→19丁→・延長約4km・この区間には、へんろ転がしは無し。

調査研究会の初回現地研修区間

10) 第82番根香寺～第80番国分寺

根香寺～県道33号～国分寺→高低差約400m・延長約5km（高松市国分寺町国分
から一本松への約1.3km）

11) 第84番屋島寺～安徳天皇社

琴電渦元駅～屋島寺～安徳天皇社→高低差約300m・延長約4km（約0.8km）

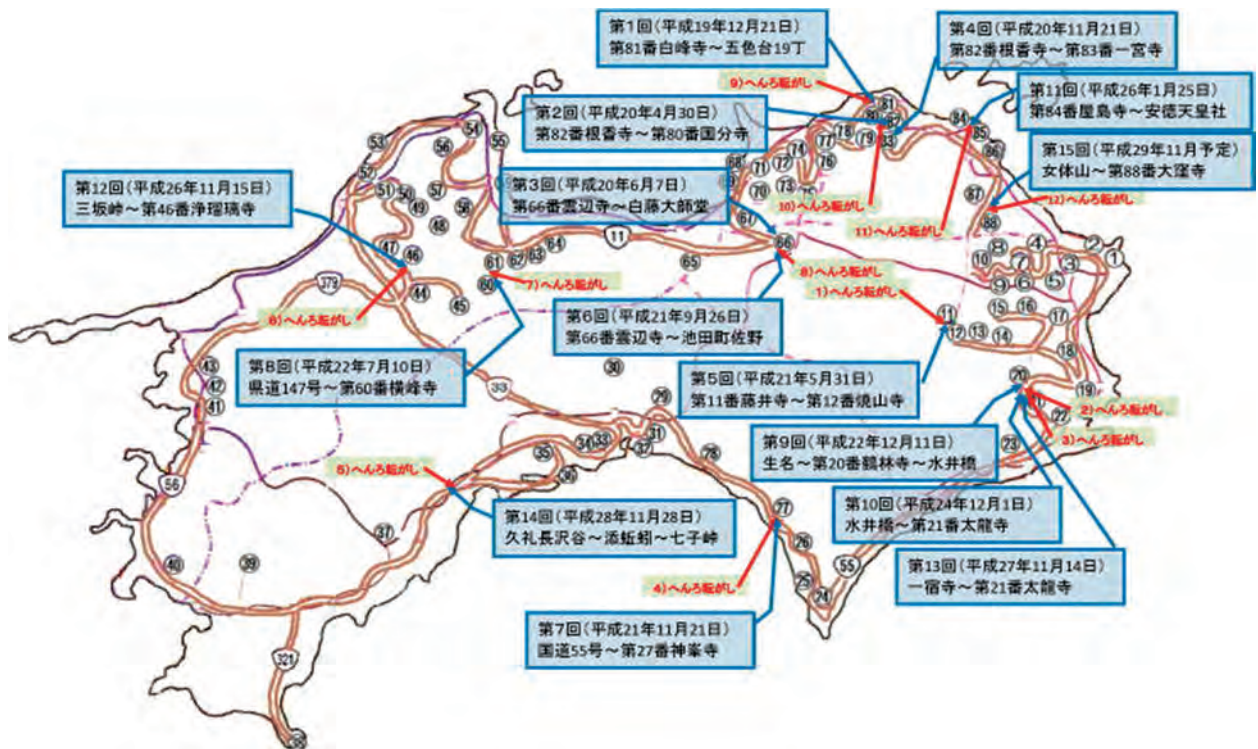
12) さぬき市長尾前山ダム～第88番大窪寺

県道3号前山ダム～女体山～大窪寺→高低差約300m・延長約11km（へんろ転がし
延長調査予定）

3. 「へんろ転がし」の現地調査の一覧表

回	現地調査年月日	「へんろ転がし」付近の札所・場所等
・	平成19年10月02日	四国遍路みち研究会 設立
1	平成19年12月21日	第81番 白峰寺～五色台19丁
2	平成20年04月30日	第82番 根香寺～第80番 国分寺
3	平成20年06月07日	第66番 雲辺寺～白藤大師堂
4	平成20年11月21日	第82番 根香寺～第83番 一宮寺
5	平成21年05月31日	第11番 藤井寺～第12番 焼山寺
6	平成21年09月26日	第66番 雲辺寺～池田町佐野
7	平成21年11月21日	国道55号～第27番 神峯寺
8	平成22年07月10日	県道147号～第60番 横峰寺
9	平成22年12月11日	生名～第20番 鶴林寺～水井橋
10	平成24年12月01日	水井橋～第21番 太龍寺
11	平成26年01月25日	第84番屋島寺～安徳天皇社
12	平成26年11月15日	三坂峠～第46番 浄瑠璃寺
13	平成27年11月14日	一宿寺～第21番 太龍寺
14	平成28年11月28日	久礼長沢谷～添蚯蚓～七子峠
15	平成29年11月（予定）	女体山～第88番 大窪寺
16	平成30年（秋頃予定）	国道55号～第24番 最御崎寺

四国に残る「へんろ道」の総延長は、1,200kmとも1,400kmともいわれている。次の図は、へんろ道の中で、特に縦断勾配等のきつい箇所を当会独自の判断で、「へんろ転がし」ということで調査した（調査中）箇所である。



現地調査箇所図

次回以降は、札所の順番に現地調査報告をいたします。

次回は、平成21年5月31日（第5回）に実施した、急勾配の上り下りが約13km続く、へんろ道中最大の難所である、第11番藤井寺から第12番焼山寺までについて報告します。

～～ 報告にあたって ～～

公益活動の一環として、四国遍路道等の世界遺産登録活動の支援になればということで、「へんろ転がし」に視点を置いた現地調査を行ってきました。

平成19年の当研究会発足からまる10年目となる今年度、若干調査箇所は残っているものの一区切りとして、これまで調査した結果を『四国遍路みちにおける「へんろ転がし」の工学的研究』と銘打って、本「<四国>会報クリエイト」にて報告することとします。

平成29年10月

四国遍路みち研究会

会長 藤田 稔